



希望学福井調査ワークショップ ～嶺南地域の希望を考えるつどい～



福井県と東京大学社会科学研究所では、福井県を調査地として「希望学福井調査」を実施しています。

希望学福井調査とは何か、嶺南地域で何が調査されているのか、また、何が解明されようとしているのかを紹介します。みなさんも、嶺南地域の魅力について意見交換を行い、地域の将来や希望を考えてみませんか。

★希望学・・・東京大学社会科学研究所で2005年から始められた新しいプロジェクトです。希望とは何か、どのような社会に希望は生まれるのかなどを、地域でインタビューを行う希望学調査等を通して、研究する学問です。

日時・場所

平成23年2月11日（金）15:00～18:00（14:30開場）

プレーパーク大飯 悠久館 イベントホール
（おおい町成和2-1-1）

参加無料 定員120名（申込み順）



プログラム

あいさつ（福井県副知事 旭信昭）

希望学・福井調査について

（東京大学社会科学研究所 玄田有史教授、中村尚史教授）

嶺南調査のねらいと概要

○「近代の嶺南地域の開発—海・山・川—」

（東京大学社会科学研究所 五百旗頭薫准教授）

○『『低炭素社会』と嶺南地域』（一橋大学大学院商学研究科 橘川武郎教授）

パネルディスカッション

（玄田有史教授、中村尚史教授、橘川武郎教授、五百旗頭薫准教授と会場参加者との意見交換）



主催 福井県・東京大学社会科学研究所



いおき へかおる
五百旗頭 薫 [東京大学社会科学研究所准教授]

専門は日本政治外交史で、明治時代の条約改正や政党政治を研究してきた。最近、もっと社会からの視点を入れなければならないと痛感し、福井県下に出発している。昨年末には佐分利河畔で迷子になったまま日が暮れてしまい、近くの方に助けて頂いた。



きっかわ たけお
橘川 武郎 [一橋大学大学院商学研究科教授]

東大社研教授を経て、2007年から現職。専門は、経営史、電力産業論、地域経済論。「地域からの経済再生と雇用創出」と題して、福井県を含む全国各地で講演中。希望学福井調査では嶺南地域を担当。阪神ファン。



げんた ゆうじ
玄田 有史 [東京大学社会科学研究所教授]

専門の経済学と同時に、2005年から希望学を研究中。希望はどのようにして生まれるかを、福井の皆さんと一緒に考えるのを楽しみにしている。



なかむら なおひさ
中村 尚史 [東京大学社会科学研究所教授]

専門は日本経済史・経営史。とくに明治期の鉄道史や地域経済史を研究してきた。最近、明治時代の地域経済活性化についての著書『地方からの産業革命』を刊行した。

○参加申し込み方法

以下の参加申込表に必要事項を記載の上、FAX、またはメールにてお申し込みください。

団体名（個人の方は記入不要）	
参加者氏名	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

○参加申込先・お問い合わせ先

福井県総合政策部政策推進課

TEL 0776-20-0258

FAX 0776-20-0623

E-mail seisaku@pref.fukui.lg.jp